

年度 2008 学期 前期	曜日・校時 金曜日 3校時	必修選択 選択	単位数 2単位
授業科目/(英語名)	人間と環境(斜面市街地の暮らし) Human and Environment (Life in residential area on hillside)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等)	全学部	科目分類 人間科学科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員(科目責任者:松坂誠應)			
	Eメールアドレス	/研究室	/TEL: /オフィスアワー
	松坂誠應(医学) matsu_report@hotmail.com	医学部保健学科3F	849-7961 金曜日午前中
	杉山和一(環境) sugiyama@net.nagasaki-u.ac.jp	環境科学部3F	819-2752 金曜日午前中
	石松隆和(工学) ishi@net.nagasaki-u.ac.jp	工学部4F	819-2508 金曜日午前中
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
授業のねらい: 人間の生活、特に障害のある人や高齢者の生活は様々な環境の影響を受けるが、その環境要因を知り、誰もが住みやすい生活環境を創造していくための基礎的な知識と思考力を高める。			
授業方法: 講義だけでなく、斜面市街地やそこで生活する人々を理解する目的で、斜面地に住む障害のある人々との交流や斜面に関するボランティア活動や現地見学などの課外活動への参加を求める。また、講義で障害のある人や高齢者からの講話を聞く。			
授業到達目標: 障害のある人や高齢者の生活に影響する環境要因とそれに対する対応策を理解し、説明できる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
授業内容(概要) 人間は様々な環境要因の影響を受けるが、障害のある者や高齢者は生活環境によって身体的・心理的・社会的な影響を受けやすい。特に、市街地の大半が斜面地である長崎市では障害のある者・高齢者の身体機能の低下や社会参加の制限など多くの問題が指摘されている。 講義では、生活環境が障害のある者に与える影響を身体的・心理的・社会的側面から解説するだけでなく、都市計画など環境整備、福祉機器の利用による生活環境への対応など環境科学やリハビリテーション工学の面からも解説する。			
第 1回(4/11) オリエンテーション:松坂・杉山・石松 斜面市街地に生活する高齢者を記録したビデオから斜面市街地の暮らしの概要を知り、3名の教員の講義計画について説明する。課外活動(ボランティア、現地見学)の説明も行う。			
第 2回(4/18) 障害のある者や高齢者の生活の現状:松坂			
第 3回(4/25) 障害のある人の講話:石松			
第 4回(5/02) 障害のある人への生活支援の考え方と実際:松坂			
第 5回(5/09) 生活環境が「寝たきり」老人を作る!:松坂			
第 6回(5/16) 斜面市街地の現状と対策(1):杉山			
第 7回(5/23) 斜面市街地の現状と対策(2):杉山			
第 8回(5/30) 斜面市街地の分析・評価(1):杉山			
第 9回(6/06) 斜面市街地の分析・評価(2):杉山			
第 10回(6/13) 福祉機器作成・提供の考え方:石松			
第 11回(6/20) 福祉機器使用の実際(1):石松			
第 12回(6/27) 福祉機器使用の実際(2):石松			
第 13回(7/04) ノーマライゼーションの考え方(障害のある人や高齢者の講話を含む):松坂			
第 14回(7/11) 学生と教官のディスカッション:松坂・杉山・石松			
第 15回(7/18) まとめ			
課外活動(ボランティア、現地見学)は週末に行う。			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は用いず、授業計画に沿ったプリント資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等	毎回の講義に関するレポート(40%)、課題レポート(第14回時に示す)(30%)および課外活動(ボランティア、現地見学)への参加(30%)で判定する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			